

2002年9月の情報です。

7-2 一般環境地域の調査結果

単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ただし、重金属類及びベンゾ[a]ピレンは ng/m^3

実施主体	横浜市		川崎市			横須賀市	平塚市
	港南区野庭 中学校	緑区三保小 学校	中原保健 所	多摩区登戸 小学校	多摩区生田 浄水場	横須賀市衣笠行政 センター	平塚市役 所
ベンゼン	2.5	2.6	2.4	2.5	-	2.2	2.3
トリクロロエチレン	0.88	0.99	3.3	1.8	-	0.73	1.9
テトラクロロエチレン	0.86	0.81	1.6	0.93	-	1.6	0.47
ジクロロメタン	3.2	3.0	4.6	3.9	-	2.6	4.6
アクリロニトリル	0.12	0.082	0.10	0.10	-	0.10	0.11
塩化ビニルモノマー	0.029	0.025	0.025	0.030	-	(0.029)	0.23
クロロホルム	0.23	0.23	0.28	0.26	-	0.071	0.29
1,2-ジクロロエタン	0.22	0.22	0.091	0.086	-	0.025	0.26
1,3-ブタジエン	0.30	0.34	0.29	0.27	-	0.17	0.28
アセトアルデヒド	4.0	3.9	3.8	3.2	-	1.9	3.2
ホルムアルデヒド	6.1	6.6	4.5	3.8	-	3.0	4.5
水銀及びその化合物	2.1	2.6	2.5	2.5	-	2.4	2.1
ニッケル化合物	5.5	4.3	5.7	4.4	-	7.4	5.3
ヒ素及びその化合物	1.6	1.7	1.9	-	1.8	0.36	1.5
ベリリウム及びその化合物	0.021	0.032	0.025	-	0.026	(0.042)	0.028
マンガン及びその化合物	31	44	36	-	33	22.4	34
クロム及びその化合物	5.9	5.3	6.6	-	5.0	3.67	5.9
ベンゾ[a]ピレン	0.44	0.53	0.57	-	0.62	0.22	0.47
酸化エチレン	0.078	0.10	0.11	-	0.085	0.069	0.069

実施主体 物質名	藤沢市	相模原市	神奈川県		一般環境 年平均値	環境基準値等	
	藤沢市役所	相模原市役所	小田原市役所	厚木市役所		環境 基準値	参考値
ベンゼン	2.4	3.0	1.8	2.5	2.4	3	
トリクロロエチレン	1.1	2.7	0.56	1.2	1.5	200	
テトラクロロエチレン	0.57	2.0	0.45	0.7	1.0	200	
ジクロロメタン	3.3	5.8	7.0	5.0	4.3	150	
アクリロニトリル	0.073	0.21	0.077	0.055	0.10		0.1[1]
塩化ビニルモノマー	0.049	0.048	0.072	0.064	0.064		10[3]
クロロホルム	0.28	0.42	0.29	0.28	0.26		0.4[1]
1,2-ジクロロエタン	0.054	0.13	0.090	0.11	0.13		0.4[1]
1,3-ブタジエン	0.33	0.38	0.22	0.40	0.30		0.04[1]
アセトアルデヒド	2.6	3.4	3.5	4.6	3.4		5[1]
ホルムアルデヒド	2.9	5.0	4.1	5.2	4.6		0.8[1]
水銀及びその化合物	2.5	2.7	0.7	0.9	2.1		1000[2]

ニッケル化合物	4.8	4.5	3.3	5.5	5.1		26[2]
ヒ素及びその化合物	1.8	1.5	1.5	1.5	1.5		2.3[1]
ベリリウム及びその化合物	0.024	0.018	0.011	0.018	0.025		4.2[1]
マンガン及びその化合物	37	28	19	27	31		150[2]
クロム及びその化合物	5.1	4.6	2.3	4.4	4.9		0.83[1]
ベンゾ[a]ピレン	0.43	0.14	0.28	0.34	0.40		0.11[2]
酸化エチレン	0.076	0.11	0.075	0.076	0.085		—

備考

- (1) 各地点における年平均値を算出する際、検出下限値未満である測定値は検出下限値の1/2として算出した。
(2) ()で示した測定値は、算出した年平均値が、年間の最大検出下限値未満の数値であったもの。
(3) 参考値(環境庁記者発表資料「平成11年度有害大気汚染物質等モニタリング調査結果」より抜粋)については、それぞれ

- [1] 米国環境保護庁(EPA)発ガン性 10^{-5} リスク濃度
[2] WHO欧州地域事務局ガイドライン値(1996)
[3] WHO欧州地域事務局ガイドライン値(1996改定時にはリストにない物質)
[4] ジクロロメタンは24時間平均値、ホルムアルデヒドは30分平均値であり、これ以外のユニットリスクで示されない物質は年平均値を示す。
[5] クロム及びその化合物の欄の参考値は、六価クロム化合物としての発ガン性 10^{-5} リスク濃度である。